

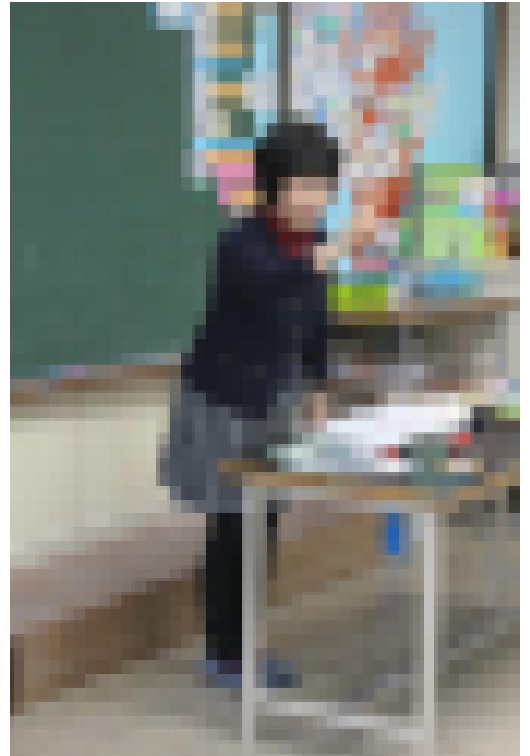
学びの実感・結

1年1組 渡邊学級「どちらがひろい」第1時

◇同じ単元で取り組む全校授業に向けて、先行授業に取り組んだ昌子先生です。昌子先生の優しい雰囲気です。授業がスタートし、形に気を付けながら丁寧に板書したり、子供たちに分かりやすく大切なワードをカードにして貼り付けたり…いつもの自分の授業を振り返り、しっかりと反省させていただきました。ありがとうございました。

◎1回目の指導案検討会から

- ◆プロローグを大切にしたいと考え、1時間扱いの単元を2時間にして取り組んでみます。
- ◆「広い」「狭い」「大きい」「小さい」などの言葉をしっかりと定着させたい。
- ◆「広い」という言葉を遊びを通して、概念を理解させたい。
- ◆レジャーシートだと場所を取るし…どんなものを使うか悩んでします。
 - ・紙や新聞や模造紙なんかもいいかもしれませんね。
- ◆そうですね。いろいろなパターンの紙を用意してみたいです。
- ◆ペアではなく、3人で活動させようと思います。
- ◆△を評価するための問題としようと思います。



◎研究授業にて

《自評》

- ◆比べる活動「長さ」「かさ」の第3弾。面積「広さ」の出会いを大切にしたい。とこのことで、「広さ」を意識するために、2平方メートルのレジャーシートを床に広げた。その上で寝転ぶことで「でかい(大きい)」のイメージから「広い」という用語を提示した。
- ◆身近な物ということで、児童、2名のレジャーシート比べをさせた。写真提示では、「見ただけでは分からない」「何となく」とつぶやいた児童も、実際に比べた

ことで、「端をそろえる」というイメージがわいたようだった。

- ◆場の設定での3人組(トリオ)は、意図的グループ編成。ペアでも伝えることが苦手な児童も、表現しようと頑張っていた。
- ◆自力解決場面では、3つのものを比べるということで、もう少し時間を確保する必要があった。本時は、直接比較「どちらが広いか」が分かればよいので、正しく比べることはないが、「端をそろえる」「重ねる」「縦方向、横方向の向きをそろえる」など

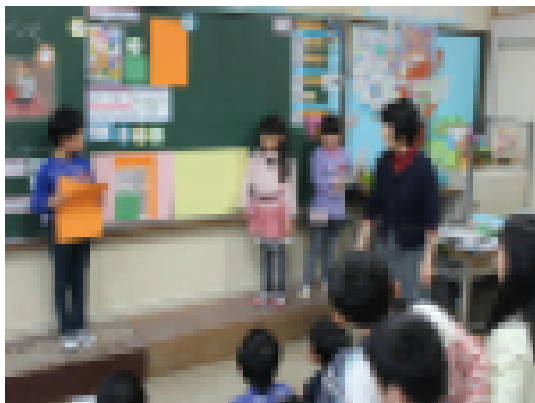
の基本をそろえた。そのため、ほとんどの児童が本時のキーワードを意識して活動に取り組んでいた。

- ◆「たてぼう」「よこぼう」と言っていたA君。長さの時に理解しやすいように使った言葉が今でも離れない。算数用語は特に、系列を踏まえて吟味し、正しく使う必要、重要性に改めて気付かされた。



《参観者》

- ・子供たちが「大きい」というと、昌子先生が「ひろい」に言いかえたり、全体発表でも「かど」「はし」「たて、よ



こ」も同様に使っていてよかったですと思います。大切なワードを忘れさせない工夫だと思いました。

- ・ポイントになるキーワードカードの掲示が良かった。学習した流れが見えたし、残った。
- ・「広さ」工夫のしがいのある学習内容だった。いろいろなパターンが考えられる学習活動である。
- ・課題②の自力解決場面では、全体で「向き」を考えさせても良かった。うとおの向きの違い（うは、縦長。おは、横長）、縦線と横線、比べると、「どっちが広い」など。

課題のリレー （成果○・課題●）

- 学習の流れが見える「キーワードカード」の工夫。
- 動き（めりはりのある）のある活動の場の設定。自力解決の場や発表の場、話合いの場など。
- 3人組は良かった。10グループは、いろいろな考えが出てくる。お客さんを作らない。
- 子供たちの思考の手助けになる「アナウンス」「アドバイス」をどのタイミングで効果的にするのか。
- 自力解決場面（操作活動）の時間を十分に確保することで、全体での話合いにつながる。さらに、評価の時間を確保する。

◎お願い…

今年度も授業後に、「研究集録」ように①A3指導案、②学習活動の実際A3、年度末に③今年度の振り返りの3点セット+プリント・カード類の準備しておいてください。早めに提出して頂いてもかまいません。どうぞよろしく申し上げます。

次回の研究授業は…

11月30日 1年2組 秋田学級「どちらがひろい（第2時）」です。

時間が許す範囲で、無理せず、事前検討会・授業・事後検討会に参加しましょう。

★事後検討会 …11月27日 放課後

★事後検討会 …11月30日 放課後

乱筆乱文ですみません。修行していきます。m(._.)m